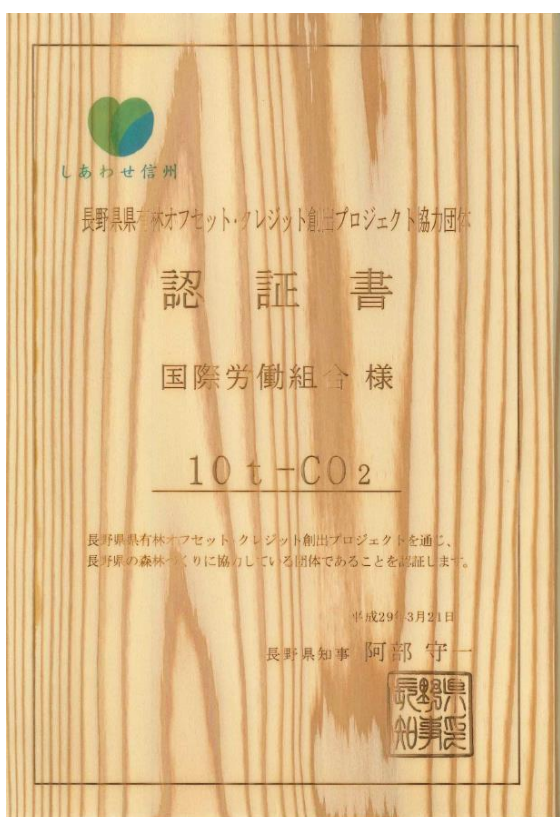


カーボンオフセット・クレジット

協力団体認証書の贈呈式



長野県池田林務部長と茨木中央執行委員長（長野県庁にて）



国際労働組合は温室効果ガスを排出するハイタク・バス産業に従事する労働者の団体として削減に向けた積極的な取り組みが重要と捉え活動を進めています。

2017アクションプランに基づき、長野県の小海県有林整備事業により吸収された二酸化炭素のオフセット・クレジット「J-VERプロジェクト」10トン分を今年度も購入したことにより、2017年3月27日(月)長野県庁において、池田林務部長より「J-VERプロジェクト」の認証書が贈呈されました。

今回のオフセット・クレジット購入により2012年の二酸化炭素オフセットによる社会貢献の取り組みを開始してから、総量58トンの温室効果ガス(タクシーが約20万kmを走行した時の排出量)をオフセットすることができました。